

ボンテラン工法の概要

ボンテラン工法とは

建設汚泥や浚渫土砂(ヘドロ等)に古紙破砕物とセメント系固化材を添加・混合することにより、優れた強度特性・変形特性、高い耐久性を有する**盛土・埋戻し材**を生成する工法です。

また、建設汚泥(非自硬性汚泥)や浄水発生土に古紙破砕物、水溶性ポリマーを添加・混合することにより、保水性の高い**緑化基盤材**を生成する工法です。

盛土・埋戻し材



緑化基盤材



対象土砂

■**建設汚泥**とは、「掘削工事から生じる泥状の掘削物および泥水をいい、このうち廃棄物処理法に規定する産業廃棄物として取り扱われるもの」と定義されております。

■**浚渫土砂**とは水域にたまった泥状の堆積物が、浚渫工事に伴い発生した土砂です。

■**軟弱土**とは要求する品質を確保できず、せん断強さが小さいために荷重により沈下量が大きな土、又はトラフィカビリティーが確保できない土です。

■**浄水発生土**とは河川等から水を取水し、浄水場で水と分離された土砂です。

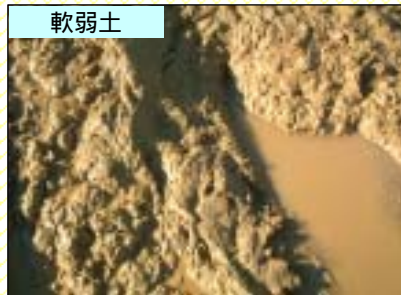
建設汚泥



浚渫土砂



軟弱土



浄水発生土



泥土の種類とリサイクル方法

処理対象土砂

高含水比泥土

浚渫土砂
軟弱土

建設汚泥
(非自硬性汚泥)

浄水発生土

ボンテラン処理

固化処理

セメント系固化材添加

非固化処理

再資源化施設にて処理

盛土・埋戻し材

堤体盛土、路体材、埋戻し材等

緑化基盤材

屋上緑化用
軽量土壌

改良土適用用途

工法の特長

- 古紙破砕物(新聞古紙)は安全性に優れています。水溶性ポリマーは環境基準をクリアした安全な添加剤です。
- 水溶性ポリマーの効果により高含水比泥土(許容含水比 500%)を団粒化し、即時運搬を可能とします。
- 1サイクル 30分程度で改良が完了します。
- 脱水プラントを必要としません。
- バックホウに攪拌用アタッチメントを装着するだけで、特殊な装置を必要としません。

ボンテラン処理とは、高含水比泥土に古紙破砕物を添加・混合し、即時運搬の必要性に応じて水溶性ポリマーを添加する工程です。建設汚泥(自硬性汚泥)はすでにセメント分を多く含んでいるため、緑化基盤材には適しません。ボンテラン処理をした後、盛土・埋戻し材として再利用いたします。